

「マチカートの開発と導入で楽しいお買い物商店街を」

1. 提案の背景

1) スーパーで買い物をすることの利便性

スーパーの利便性の一つに、買い物の品物を持ち歩かなくともよいカートの存在がある。重いもの、かさ張るものもカートに入れて、子連れでも、お年寄りでも気軽に買い物を楽しめる。

2) 商店街の自転車問題

多くの商店街で、お客様の自転車問題がある。賑わう商店街では自転車が邪魔者になっている。特に遠方から来ているわけでもないお客様が、わざわざ自転車を「押して」お買い物に来ている。

実は、自転車は単に交通の手段だけではなく、買い物客が自転車を「買い物カゴ」としているケースが目につく。

3) 本提案の基礎的背景

本提案は、平成17年度の私自身の授業「社会連携論」にて、学生によって実施した、東京都江東区砂町銀座商店街、亀戸天神商店街等の調査結果と、本学が基本協定を結んでいる東京東信用金庫との商店街振興にかかわる検討の中から、アイデアとして私が創出したものである。

2. 提案内容

商店街での買い物専用のカート、その名も「マチカート」を開発し、これを商店街に導入普及をはかる。

3. 提案の効果

- 1) カート替わりの自転車が減って、商店街の自転車交通問題の解消につながる。
- 2) カートのおかげで、子ども連れ、高齢者など、買い物客の利便性が向上する。
- 3) カートのおかげで、より多くのお買い物が可能になり、買い物客の購買性が向上し、売り上げ増につながる。

4. 具体の実施内容

1) 商店街向け、買い物カート「マチカート」の開発

- ・従来のスーパーにみられるカートとは違って、車輪騒音をなくす物を開発。
- ・お年寄り向け、子連れ客向けに、座イス等の付与を検討する。

2) 運営の工夫など

- ・遠方などからの自転車客には、駐輪場で「マチカート」にかえてもらう。
- ・高齢者、近隣住民には「お持ち帰り」可とする(マイカート)。マイカートは、登録をし、各自の住所や連絡先などを記録して、高齢者の事故などの際の緊急連絡などに供する。
- ・IC タグを具備させることで、買い物頻度、来店店舗、来所時間帯、頻度などを把握し、営業戦略などに役立てることを考える。

3) その他の工夫

- ・「街カート」には、商店だけではなく、近隣の銀行や宅配業者などの広告を掲載し、運営費の一部に充てる。

岡山大学教育学部特別教科教員
養成課程の卒業作品
(お買い物カート)



5. 課題

- ・ マチカート開発、導入、普及促進母体の設置
- ・ マチカート開発経費と一台あたりのコスト試算
- ・ 各個別の商店街への初期導入経費の試算とその手当て
- ・ 導入後のマチカートのメンテナンスのシステムと費用
- ・ 導入による効果の数値化
- ・ マチカートの意匠権化、商標権化

以上